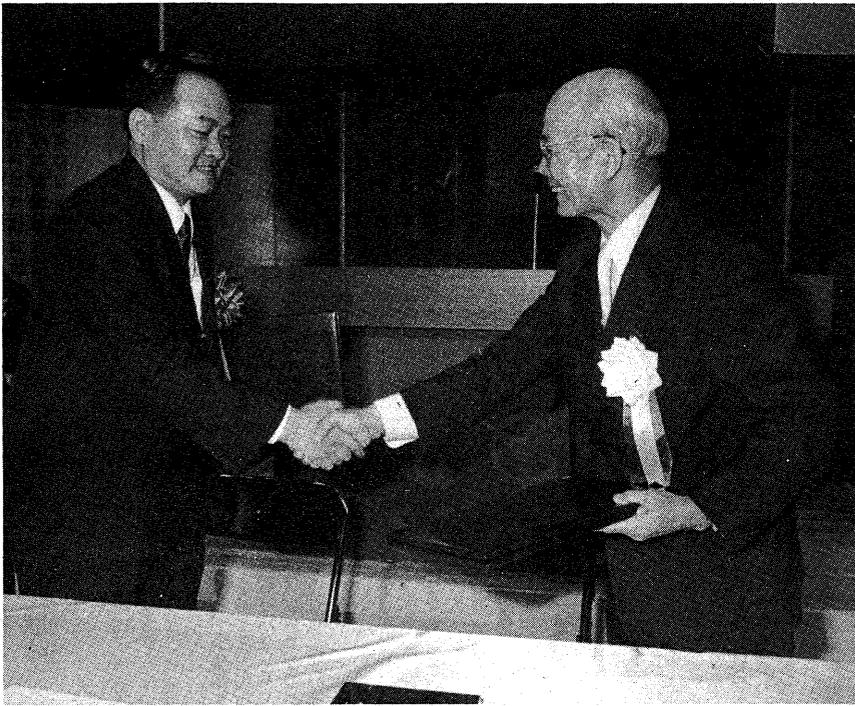


咸陽市と友好都市に

7月24日に調印



▲調印を終えて、固い握手をかわす両市長（7月24日、文化会館小ホール）

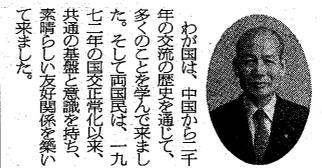
本市と中国陝西省咸陽市との友好都市提携調印式が、七月二十四日、文化会館小ホールで行われました。池本正夫宇治市長と祝新民咸陽市長が「平和友好・平等互恵・相互信頼・長期安定の四つの原則に基づき、各種の方法で経済・科学技術・文化・教育・スポーツ等の分野における協力と交流を行い、両市の発展と両国民及び両市の友好事業を推進するために努力する」との協定書に署名をし、両市の永遠の友好を誓い合いました。

調印式は、七月二十四日午後、両から、文化会館小ホールで池本宇治市長、祝咸陽市長、北村市長参事長を各代表者約四百人が出席、文運後、祝新民しゅくしんみん中華人民共和国駐大阪公使、総領事と谷岡豊・京都府出納長、知事代理が立会人として出席し行われました。式典は、両市の国歌演奏の後、祝新民しゅくしんみん市長以下五人咸陽市各社、表団を紹介、ついで、日中平和条約の調印と日中平和条約の調印に基づき、両市の相互理解と友好を促進するを両市が両市の友好関係強化し、相互理解を深めるを得する協定書が読み上げられ、両市長が日本語、中国語、通の協定書にそれぞれ毛筆で署名をしました。

また、幼稚園児が両市長に花束を贈呈するなど、終始なごやかな式典を終えました。調印式の後、両市長は花センター前庭、市の木ロハモミジの整備を、両市の各家庭を樹木とともに大きく育てることを誓い合いました。



▲両市長がサインした協定書



わが国は、中国から二千年の交の歴史を通じて、多くのことを学んで来ました。そして両国民は、一九七三年の国交正常化以来、共通の意識を持ち、緊密な友好関係を築いて来ました。

咸陽市は、歴史都市であり、産業・経済の面で大きく発展しています。本市と咸陽市が、友好都市提携することは、好都市提携すること、技術・文化・教育・スポーツの各分野の交流で友好を深めること、

宇治市民にとって大変重要なこと、

深いものです。

また、今後の日中両国民の発展と、世界の恒久的平和を期して、

に結びつくものであらう確信します。

本市と咸陽市が、友好都市提携すること、経済・科学技術・文化・教育・スポーツの各分野の交流で友好を深めること、

好都市提携すること、

技術・文化・教育・スポーツの各分野の交流で友好を深めること、

深いものです。

また、今後の日中両国民の発展と、世界の恒久的平和を期して、



今日は、咸陽市、宇治市にとって、大変重要な日です。一九八六年七月二十四日は、両市の歴史に書き込まれる重要な日です。

咸陽市長から、訪問団派遣要請の親書を受理、

昭和60年7月、咸陽市との友好都市推進市民会設立、

昭和60年9月、咸陽市と友好都市提携の意向を、宇治市長から、訪問団派遣要請の親書を受理、

昭和60年9月、咸陽市と友好都市提携の意向を、宇治市長から、訪問団派遣要請の親書を受理、

昭和60年9月、咸陽市と友好都市提携の意向を、宇治市長から、訪問団派遣要請の親書を受理、

両市長のあいさつ

調印までの歩み

昭和59年12月 宮城宇治市日中協会会長が市長、咸陽市の友好都市提携について懇談、

昭和60年4月 京都府訪問中の陕西省長が大阪公日を視察、市長と懇談、陕西省長は、両市の友好都市提携に積極的姿勢を示す。

昭和60年5月 王参唐咸陽市長以下五人が宇治市を訪問、早期に、友好都市提携すること両市長が確認、咸陽市長、池本市長の咸陽市訪問を要請、

昭和60年5月 中国人民対外友好協会陝西省分會副会長以下五人、宇治市を訪問、副会長、両市の友好都市提携に努力すると表明、

昭和60年6月 咸陽市長から、訪問団派遣要請の親書を受理、

昭和60年7月 咸陽市との友好都市推進市民会設立、

昭和60年9月 咸陽市と友好都市提携の意向を、宇治市長から、訪問団派遣要請の親書を受理、

昭和60年9月 咸陽市と友好都市提携の意向を、宇治市長から、訪問団派遣要請の親書を受理、

昭和60年9月 咸陽市と友好都市提携の意向を、宇治市長から、訪問団派遣要請の親書を受理、

宇治市史の窓 (その125)

宇治に於ける有力な茶師であった林家は、代官という役職を離れた後も、宇治茶業界の中心的な立場を失ななかつた。

「上の林」と呼ばれた上林茶師と下の林と呼ばれた林又兵衛家は、共に江戸幕府の下で宇治茶師たちが組織する三つの「御茶師仲間」を統轄し続けた。両家は、改易や開聞の一時期を除いて、それが相対する幕府の知行を受け、御茶師頭取と称し、幕府の將軍への茶を納入し入力する。

製茶技術の発達

(その一)

は驚しい虫書に見舞われて、荒廃した茶園の復旧を急がねばならぬ状態であったと考えられる。当時、宇治茶と云は抹茶を意味した。宇治の生葉の主要な面は抹茶であった。このような状態では抹茶以外の茶も必要とされ、練茶と云ふ。

全道唯一の抹茶産地であった宇治の特産は、こうして在り方が変わって行くのである。しかし、宇治の茶業は江戸時代初期以降、次第に不況への歩みをたどっていた。これに加え、再三の洪水や大火に襲われ、時に



▲製茶場の風景

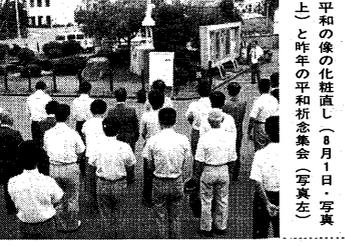
「宇治市史」第二巻 好評発売中

巻と、宇治の歴史を編み、年順に記した「宇治市史」第二巻が好評です。お求めは宇治市歴史資料館(折原台)へお越しください。なお、お蔵出しの「宇治茶(二冊)千五百」も販売しています。

「平和の像」を化粧直し

15日に平和祈念集会

市では、八月十五日の終戦記念日を前にして、一日、市役所前庭にある「平和の像」の二年間のアケを洗い、磨き美しく化粧直しをします。



上と昨年の平和祈念集会(写真左) 平和の像の化粧直し(8月1日、写真右)

市推揚協議会(会長、池本宇治市)が昭和四十一年に設置、本市の平和のシンボルとなつて、宇治市平和祈念集会(写真左)に際して、宇治市平和祈念協議会では、人類の恒久的平和と戦争犠牲者のための平和祈念、八月十五日午前十一時五十分から、平和の像の前で平和祈念集会を開きます。市民の皆さんも、ぜひご参加ください。また、正午には「鐘の響き」を鳴らして、自らも職場で分間の黙とうをさげます。

選管委員長に吉澤耕作さん 初の女性委員も誕生



町土山一三が選挙管理委員長に選出されました。また、委員長職務に代理者は、吉澤耕作さん(折原町東九四)が指定されました。任期は今年七月十七日までです。今回の委員選出は、小山一雄前委員長死去に伴い行われたものです。

A CHORUS LINE

コーラス ライン

9月10日(水)

午後6時半開演

文化会館大ホール

問い合わせ 文化センター (2)@2111へ チケット発売

KBS京都テレビ (R)E-34ch

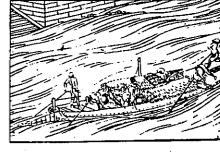
★「テレビ市政だより」★

毎週月曜日、午後5時40分

ふるさとがし話

陸上の交通機関が発達していなかった昔は、川を行き来する舟が、人や荷物を運ぶために大きな役目を果たしていました。でも、急流で知られた宇治川や淀川などは流れて、舟が川を下るときには流れに乗って、比較的たやすく進めましたが、下流から上流へ進むときは、たいへんな苦勞がありました。船頭さんは舟から降りてひき綱を引っぱりながら、川岸を歩いて舟を進めるのです。

綱で引いた 三十石船



宇治川の場合、伏見から宇治まで左岸につづく横島堤の中腹に、綱道という細い道が付けてあって、長いひき綱で舟を引きのぼっていました。また淀川には、大坂の天満橋付近と伏見の京橋付近との間を往復する客船「三十石船」がありました。この船は、文字通り米三十石(約四千六百キログラム)が積める舟舟を客船に改造したもので、乗客の定員は二十八名、それに四人の船頭さんが乗っていました。